児童に見られるつまずき

　日常生活において、比例の関係を有効に活用することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　表と式を用いて、伴って変わる２量が何なのかを説明したり、比例を用いた問題を作成したりする活動を行い、日常生活の場面と比例を結び付けて考えられるようにする。

指導事例集ｐ．８７

１　学年・単元名　　第６学年　比例と反比例（数量関係領域）

２　単元目標

　比例と反比例の意味を知り、その性質やグラフについて理解する。

３　単元の内容

　・比例の意味とその性質

　・比例する事象を判断する

・比例する事象を式に表して考察する

　・比例する事情をグラフにして考察する

　・比例する事象を式に表し、その式からグラフをつくる

　・比例のグラフのよみ方

　・表、式、グラフを使って比例かどうかを判断する

**・長さ（厚さ）や重さをもとにした枚数や本数の求め方**

　・反比例の意味とその性質

　・反比例する事象を判断する

　・反比例する事象を式に表して考察する

　・反比例する事象をグラフに表して考察する

４　本時の目標

　　比例関係を利用し、工夫して全体のおよその数を求めることができる

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 児童の活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入展開まとめ | １　問題文を読み、問題場面を把握し、ベニヤ板の枚数の求め方について、見通しを立てる、２　ベニヤ板全体の枚数を１枚の厚さから求める３　くぎ1本の重さを２ｇとし、全体の重さから、くぎ全部の本数を求める。４　２つの問題から、何と何が比例しているのかをペアで話し合う。５　比例する関係を用いた問題を作る。６　友だちの作った問題を解いてみる。７　ふりかえり | ・ベニヤ板の厚さが何と比例するのかを考えさせる。ワークシート①使用参考：ワークシート①記入例・式であらわしたり、表にあらわしたりして考えさせる。・くぎ１本の重さを２ｇとして、全体の本数が求められるようにする。ワークシート②使用参考：ワークシート②記入例・１あたりの量と全体の量がわかっていることを確認する。**・伴って変わる２量が何なのか、比例しているということはどういうことかを話し合わせる。****・２つの問題の共通点に目を向けるように伝える。**（評価）２量が比例していることから、１あたりがわかれば、いくつ分がわかることが話し合えたか。・身の回りにあるものから、１あたりの量と全体の量を決め問題を作る。ワークシート③使用参考：ワークシート③記入例**・問題を解くだけでなく、問題を作ることで、どの2量が比例関係なのか理解を深める。****・比例になっていない問題も取り上げて、なぜ比例になっていないかを考えさせることで、比例についての理解を深める。**（評価）比例の関係を有効に活用することができたか。 |